

児童生徒のいじめ根絶のための宣言

平成18年11月17日
岐阜県市町村教育委員会連合会

いじめが原因と見られる子どもの自殺という痛ましい事件が全国的に報道されています。子どもたちが自らの命を絶つということは、いかなる理由があろうともあってはならない重大な問題であります。

いじめは、ただ単に、一部の人間の弱さや甘さに起因する問題ではなく、その根源的なところには、今日の日本社会全体の病理があると言えます。それだけに、学校も、家庭も、地域社会も、そして、マスメディアも決して責任を他に転嫁することなく、自身の問題として厳しく見つめ直して見る必要があります。

いじめは、決して許されない卑劣な行為であり、また、見て見ぬふりをするのも同様な行為であることをすべての人々が改めて認識するとともに、われわれ教育委員会を始め、学校、保護者、地域社会がそれぞれに使命と責任を自覚し、常に連携を密にして、このような悲惨な事件を起こさない強い決意を確認するため、次のとおり宣言します。

- 1 いじめは、「どこでも、どの子にも起こり得る問題」であることを十分認識し、いじめの早期発見・早期対応と、継続的な指導の徹底に努めます。
- 2 命の尊さや、人をいじめることは絶対に許されないことを、あらゆる機会をとらえ繰り返し毅然とした態度で子どもたちに教えます。
- 3 いじめ根絶のため、信頼の絆で結ばれた人間関係の形成に努めると共に、いじめを受けている本人やその保護者、学校等を全面的に支援します。
- 4 「悩みを聴いたり、助けてくれたり、応援したりしてくれる」信頼できる大人が身近にいることを、すべての子どもに知らせる努力をします。
- 5 いじめのきざしをつかんだ人は、その情報を、学校や家庭、地域社会で共有し連携した対応に努めます。

